



PROFILE
1973年生、平田町。高校を卒業後、枕崎水産加工業協同組合に就職。食育普及事業を2006年頃から始め、現在も各学校や公民館等で出汁の取り方を中心とする鰹節に関する様々なことを教えている。

わが町の を訪ねて ロマネス句

エンターテイナー“ちゃんサネ”さんが枕崎にゆかりのある人を訪ねインタビューし、ようよう一句ひねります。

file.15

鰹節の可能性を広げる

枕崎水産加工業協同組合
総務部庶務課長

なかがま あきとも

中釜 章智さん (40)

11月24日のいいふしの日に、「なつかしの昭和レトロ調横丁」と銘打つ秋の市＆キヤンドルフェスタが、折口市場と折口通りで枕崎市通り会連合会主催によりて初めて開催される。これを機に、出汁を象徴とする日本の食文化の素晴らしさを改めて知つてもらいたい。

「子どもの頃遊んでいて、夕方になると近所の家から出汁の香りが漂ってきて、そろそろうちも晩御飯だつて、腹も鳴つて帰つたじゃないですか。漂う香りで、この家は今夜はカレーだなつてわかつたもんですよ。うれしくて勢いよく駆け出しましたね(笑)。現在と比べて食事などは恵まれてはいなかつたけど、あの頃の食事は本当に豊かでした。あれこそが取り戻すべき本来の姿だと思います」と語る中釜章智さん。

「ある講習のときに小学生に、「おうちで一番好きな食べ物は何?」と聞いたときに大手ハンバーガーの名前を呼ばれたときにはやはり唚然としたね、でもなかつたです。一番好きなものが……」と残念そうな表情で語る。

「手間をかけないファーストフードは簡単、便利に見えて、そ

ればかりでは健康を維持できない食であることは分かつていい。コンビニのお弁当を食べるならまだしも、おにぎりと炭酸飲料という組み合わせで食事を済ます若者を見過してはならない。若いお母さんお父さんへおいしい出汁の取り方を教える前に、彼らと子ども、青年の食育から始めなければいけないと気づいた。それから、講師として食育の催しに奔走することになりました。

栄養学や味覚などの医学的な知識も身につけなければ講師はつとまらない。子どもにもわかるように教える技術もいろいろ忙しい毎日を送っている。

「鰹節を食べてもらうために講習を受けた子どもにまちで再会し、いきなり『ぼく、削つてるよ!』と声をかけられることがあるそうだ。鰹節を削つて「それはなぜ?」と聞かれたときにせめて枕崎の大人は、DHAの脳細胞活性化やEPAの血

液サラサラ効果やイノシン酸はじめアミノ酸の旨味とともに体調のバランスを保つ働きを説き聞かせることができ、魚のさばき方や出汁の取り方、節の削り方などを実演できなければ、本場が「本物」でないことになります。だから秋の市では、「ゴマサバ」料理と題して、昆布を取り枕崎鰹船人めしは商標登録を取得することができた。

「今、第一歩を踏み出したところなんですよ、枕崎グルメの道を。これからなんですね。三歩目が、現状に満足するのではなく、改良や工夫を重ねていかなければ2年で飽きられますね。だから秋の市では、「ゴマサバ」料理と題して、昆布や飲む出汁についても、ゼリー(寒天)を用いたタピオカ風の冷食バージョンをサンプル化しています。どんどんアイデアを出していつて応援していきたいですね」と熱く語ってくれた。

(唱) 古事記の料理づい
こいがなあ イロリで
こいやカタウオ
再現したんなあ!



食
歳の時記
まぐらさき味探訪

夏野菜たっぷり スタミナイタリアン

●材料 (4人分)
豚ひき肉……………200g
トマト(皮をむき2等分の乱切り)…中2個
じゃがいも(長さ約3cm厚さ約4mmの
千切り)……………大2個
玉ねぎ(うす切)……………中2個
なす(厚さ約5mmの輪切り)……………2本
しめじ(小房に分ける)……………1袋
ブロッコリー(小房に分け下ゆで)…1株
オクラ(厚さ約5mmの輪切りにし下ゆで)…2~3本
カラーピーマン(約5mm幅の千切り)…1個
インスタントミートソース(2人前)…1袋
とけるチーズ……………100~150g
オリーブオイル……………大さじ3~4
ワイン……………大さじ3
コンソメスープの素……………2個
にんにく……………1片
塩コショウ……………適量
ケチャップ……………適量

●作り方
①大きめのフライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ、火にかける。
②香りが出てきたら豚ひき肉を炒め、色がついたら玉ねぎ、じゃがいも、なすを加え、さらに炒める。
③②に8割程度火が通ったら残りの野菜を加え、炒める。
④⑧にワイン、コンソメスープの素、ミートソースを加え、混ぜ、味を塩コショウ、ケチャップで調整する。
⑤⑥が出来上がったらとけるチーズを加え、蓋をして2~3分蒸らし、チーズが溶けたら完成。



下迫良子さん(66・田布川町)

食べ盛りの孫たちにたくさんのかんの野菜を夏は色とりどりの野菜が旬を迎えます。そんな夏野菜をふんだんに使った料理を紹介していただきました。

今回料理を紹介していただいた下迫良子さんは、上は小学5年生から下は3歳までの6人のお孫さんがいます。

下迫さんは年に2~3回、東京と神奈川にいるお孫さんたちに会いに行くそうです。滞在中は子どもたちにさまざまな料理を作っているのですが、嫌いな野菜はなかなか食べてくれないそうです。野球やサッカーを始めたのにこのままいけないと、下迫さんが工夫をこらして出来上がったのが「夏野菜たっぷりスタミナイタリアン」です。子どもたちが好きなミートソースで味付けし、たっぷりのチーズを使ったこの一品

は、嫌いな野菜が入っていても、子どもたちは好き嫌いせずたくさん食べてくれます。

この調理法のほかにも、パスタを加えてみたり、野菜を細かくしご飯を加えてリゾット風にもできたりと、さまざまなアレンジもできるそうです。

「野球やサッカーを頑張り、確実に上達している姿を見るのが楽しい」と、笑顔で話す下迫さん。たくさん食べて、スポーツに励む子どもたちの成長が、これからも楽しみです。

枕崎漁港に水揚げされるうなまか旬の魚を紹介します!

われるほど鮮度の低下が激しい。サバの独特の旨味はこの境界線上にあると思う。

鰯への利用が多いが、鮮度を保つために即殺・血抜きされた首折れサバ(ゴマサバ)は焼いて良し、煮て良しなのだが…私は、やっぱり刺身が一番美味しい!

**【解説】鹿児島水産高校
町頭 芳朗 教諭**
1963年生、千代田町出身。鹿児島大学水産学部大学院を修了後に同校教諭。スクーパダイビングを得意とする。枕崎カツオマイスター検定講師



ゴマサバ

夏はマサバの味が落ちるがゴマサバの味は落ちず、漁獲量も増える。都会の人は、サバの刺身と聞けば驚くが、枕崎では普通に食べる。

高度不飽和脂肪酸が多く含まれている反面、「鰯の生き腐れ」と言